

2023.10.21 出前トーク

1.テーマ	私たち（高校生）が住み続けたいと思えるまちになるためには
2.日時	令和5年10月21日（土）15時～16時
3.場所	ちょっくらじお
4.出席者	（直方市）直方市長 （主催者側）DJ ジャッキー岩尾、SAYA、鞍手高校（放送部4名）、直方高校（美術部4名）
5.内容	テーマに基づき直鞍の高校生と直方市長が意見交換を行いました。意見交換の主な内容は以下のとおりです。 ●直方高校 時間制限がなく学生が好きなだけ勉強できる施設をつくってほしい。 （市長）市役所の8階に勉強ができるスペースがあります。市民の声を受けて開設しました。特に晴れた日の遠賀川や福智山は素晴らしい景色で、良い景色を見ながら学習できます。土日は利用できませんが、ぜひご活用いただけたらと思います。 直方市内に4年生の大学をつくってほしい。直方に大学が出来たら直方の大学に行きたい。 （市長）大学誘致をなぜしなかったのかと以前から思っていました。高度成長期時代と違って、今となっては大学誘致が難しくなりました。大学そのものではなくサテライトキャンパスはどうかと考えています。 直方駅から直方高校までの歩道の点字ブロックや歩道の石段を整備してほしい。 （市長）県道になるので県と話しています。今までの石畳だと障がいのある人や高齢者は歩きにくいので、誰でも通しやすい歩道になるよう県と協議しています。 大勢で遊べる場所を増やせないか。公園を作ったり、今ある施設を紹介したらいい。

(市長) たくさん集まれる場所として河川敷広場がありますが、街中は自由に集える場所はないので、交流の場づくりに取り組んでいます。

日之出橋の歩道をもう少し通行しやすくしてほしい。

(市長) 登下校するには歩道が狭いと思っています。勘六橋は整備され広くなりました。日之出橋の歩道は広めないといけないと思っています。県の管轄なので、県と協議していきます。

直方市の PR 動画はないのか。

(市長) 今年の春に PR 動画を作りました。宣伝不足だったのかもしれないですね。ぜひ、市のホームページを観ていただきたいです。

●鞍手高校

筑豊電鉄から直方駅までの道は夜道がちょっと暗いので明るくしてほしい。

(市長) 筑豊電鉄直方駅から JR 直方駅の道路は今のところ改善計画はありません。県の管轄なので県と話しをします。筑豊鉄道については直方駅まで路線を伸ばせないか調査をしているところです。北九州、西日本鉄道と連携をとって何かできないか考えています。直方駅から日之出橋の街路灯は老朽化したので、今年度、来年度でやりかえるよう県と協議しているところです。

頓野の川沿いのガードレールで危険な個所があった。上頓野側の方に行くと少しずつ危険な感じになっている。

(市長) 通学路になっている箇所は点検していますが、安全に歩けるよう点検をしていきます。

電車の待ち時間が長い。バスの本数が少ない

(市長) JR や西日本鉄道はエリアにもよりますが利用者の減少に伴い減らす傾向にあります。路線の維持が厳しい状況になっています。電車やタクシーの運転手も不足しているという話を聞きます。上頓野や畑地区でデマンド交通の実証実験を行いました。周知不足もあったのか利用者がそこまで得ら

	れませんでした。 クラスの同級生は市外が多い。みんなで勉強したいが場所が少ない。図書館は期末テスト時期など一斉に学生が使うときは溢れて使えない。 （市長）直方高校の生徒からも意見をいただきました。一斉に使用する時に合わせると、普段の利用時のときは少ないので維持に困ります。以前は駅付近でお茶を飲むような店舗がありました。駅付近で時間が作れる空間が必要と思っていますが市単独で改善することは難しいです。これからも交流の場づくりを民間と連携して検討していきたいと思っています。 ●市長から高校生へメッセージ 新しいことに積極的にチャレンジしてほしい。自分がこの街を変えてやろうという意気込みで自らの思いを行動に起こしてほしい。できないと諦めずチャレンジしてほしい。 ●高校生から市長へ ・人生で初めて市長と話す機会があり市の HP を確認した。 市長と話すまでは緊張したが、高校生の話を聞いてもらい嬉しかった。 高校生だけでなく若い人たちの意見を聴いていただけたら嬉しい。 ・市長と話すまでは緊張していたが、学生のことをとても考えてくれていて嬉しかった。
--	--